

プログラム近況報告

World Vision

この子を救う。未来を救う。

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

タイ王国 タブ・タオ地域開発プログラム(THA-182314)



両親とコーヒー豆の収穫をするチャウトポン君(10歳)

チャイルドストーリー

コーヒー栽培で収入が安定し、 将来に希望が持てるようになりました

タブ・タオ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域に住むチャウトポン君の家族は、トウモロコシを育てて生計を立てていました。しかし、トウモロコシは売値が変動するため収入は不安定でした。子どもたちに栄養のある食事を食べさせることができず、学校に通うための制服も靴もなく、寒い夜にかける毛布もない貧しい状態だったと言います。

そのような中、2010年にチャウトポン君がワールド・ビジョン(以下、WV)のチャイルドとして登録され、2人の姉とチャウトポン君は、学校の制服、かばん、靴、鉛筆、ノート、毛布を提供してもらいました。ほかの友だちと同じ制服を着て学校に通えることをチャウトポン君はとても喜んでいました。また、父親のスパチャイさんは180本のアラビカコーヒーの苗木を支援してもらい、栽培を始めました。アラビカコーヒーは、標高の高い涼しい気候を好むため、タイの北部はコーヒー栽培に適しています。「コーヒー栽培のおかげで家族は助けられました。安定した収入により借金を返済することができました。このプロジェクトのおかげで家族の生活が安定し、本当に嬉しいです」と語るスパチャイさん。コーヒー栽培で得たお金を貯蓄し、チャウトポン君を含め4人の子どもたちが大学を卒業できるようにしてあげたいと夢をふくらませています。



チャイルド・スポンサーからいただいた誕生日カードを大切にしています

経済開発プロジェクト

副収入を得るための商品作物の栽培やブロック製作に取り組んでいます

\$ のべ**312**世帯に技術指導を実施

小規模農家は、作物や商品ごとにグループを作って、ADPから研修や資材などの支援を受けています。2014年度、トウモロコシ加工グループ（メンバー63人）とコーヒー栽培グループ（メンバー33人）は、活動を維持・発展させるための規律やマネジメントについて学びました。ゴム栽培グループ（メンバー28人）には接ぎ木とマーケティングの研修を行い、作っ

たものが確実に収入につながるよう支援しています。また、副収入を得る手段として、新たに舗装用ブロックの製作・販売の研修を50人に対して行ったほか、種無しブドウやキャベツの栽培研修も行いました。さらに、支援地域を代表して20人が、同じ商品作物を栽培・販売しているほかの地域の小規模農家を訪問し、成功事例から様々なヒントを得ました。



舗装用ブロック製作研修の様子



種無しブドウの栽培に取り組む人々

保健衛生プロジェクト

子どもたちを感染症の危険から守るための活動を行っています



新たに**200**世帯が安全な水を利用できるようになりました

2013年に引き続き、貯水タンクや浄水フィルターを支援し、新たに200世帯が安全な水を利用できるようになりました。また、感染症やその予防について正しい知識を身につけ、行動に移すことを促すための啓発研修を、122世帯を対象に行いました。支援地域の小学校でも、275人の児童を対象に同様の集会を開き、自分たちで健康を保つことの重要性を伝えました。各村で働く50人の保健ボランティアへの再研修も定期的に行っています。



支援によって設置された浄水フィルターの装置

教育プロジェクト

上級生から下級生へ、支えあって学んでいます



読み書きの能力が十分な水準にあると判定された子どもの数が
3倍以上に増えました

小学生の読み書き計算能力の向上を目指し、新学期前の長期休み中、上級生が下級生の不得意な科目を教える機会を設け、100人の小学生が新学期に備えることができました。また、支援地の1つの小学校では、子どもたちがより楽しく学べるように、教材・教具の支援を行いました。子どもたちの努力と活動の成果により、支援地域の小学2年生と5年生を対象にした試験で、読み書き能力が十分にあると判定された児童数が、2013年の114人から2014年度は384人に

増加しました。

さらに、教育の質の向上のために、小学校の教員と政府の教育担当者30人が地域外の小学校へ派遣され、指導計画の作成方法を学びました。また、課外授業を充実させるために、中等学校に通う10代の若者にモン族の間で古くから伝わる護身術の講習を行ったほか、外部講師を招いて中国語の語学授業を行いました。



タイ語が苦手な下級生に上級生が読み書きを教えている様子



護身術の講習の様子



支援地域の女性のインタビュー

少数民族の村で幼児教育を行っています

Q. 子どもの頃学校に通いましたか。

私は山岳少数民族（モン族）の出身で貧しかったのですが、小学校には6年生まで通いました。その後は勉強を辞めて、山間部に住む人々の習慣に従って、親の手伝いや畑の仕事をしていました。

Q. ADPの活動は地域の人々にどのような変化をもたらしたと思いますか。

WVは子どもたちに毛布や靴を支援してくれました。また、教育支援によって子どもたちはしっかりした基礎学力をつけてきたので、県の高等学校にも行けると思います。

Q. 子どもたちが大人になった時、タブ・タオがどんな地域になって欲しいですか。

私たちモン族は識字率が低いという問題を抱えています。自分の3人の子どもも、地域の子どもたちも、タイ語の基

礎を学び流暢に話せるようになって欲しいですし、学校の先生には子どもたちがタイ語の基礎を身につけられるよう、しっかりと教えて欲しいです。タイ語の基礎がしっかりしていれば、高等教育も受けることができますし、より豊かな人生を送れるようになると思います。



幼稚園で働くワナティップ・セーハンさん（33歳）

ADPスタッフ・インタビュー



Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

子どもたちとチャイルド・スポンサーの皆さまの手紙の交流を支援したり、子どもたちを定期的に訪問して健康状態や家庭の状況を確認する、スポンサーシップ・マネジメントを担当しています。

Q.2014年、仕事で大変だったことは何ですか。

これまでの手紙や写真での交流に加え、子どもたちのビデオを撮ってスポンサーの皆さまにお届けするという取り組みが試験的に始まり、初めてのことで大変でした。また、タイ語の通じない山岳民族の人々とも一緒に働くことがあるので、コミュニケーションが難しいです。

Q.WVで働く上でのモチベーションは何ですか。

私の家も貧しかったので、貧困の大変さがわかりますし、どんなに支援を必要としているかわかります。私の夢はタブ・タオの子どもたちが高等教育を受けられるようになることです。この地域の学校は9年生までしか教えていません。子どもたちが10年生以降の教育を受けられるように、これからも保護者に教育の重要性について啓発していきたいと思います。



タブ・タオ ADP スタッフ アムオン・カラット (42歳)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



子どもの権利と責任について学ぶ子どもたち

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。支援地域の各村に設置された「チャイルド・モニタリング委員会」がチャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認をしています。チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

会計報告

THA-182314

収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	19,053,111
当期支援額	19,053,111
前期繰越金	2,144,750
プログラム支援額合計	21,197,861

プログラム支出額

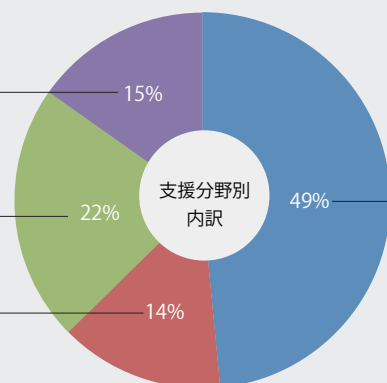
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	8,974,412
経済開発プロジェクト	2,621,899
教育プロジェクト	4,102,478
保健衛生プロジェクト	2,814,287
プログラム支出額合計	18,513,076
次期繰越額	2,684,785

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

保健衛生
プロジェクト

教育
プロジェクト

経済開発
プロジェクト



スポンサーシップ・マネジメントの割合が高くなっていますが、事業全体に従事する複数スタッフの人件費が含まれているためです。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
 電話 : 03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)
 FAX : 03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ : www.worldvision.jp
 e-mail : dservice@worldvision.or.jp